

朝鮮の創建と強化発展につみあげた 卓越した指導者たちの立派な業績

ネパール・チュチェ思想研究所所長
ナヘンドラ・カードカ

人類歴史は偉人たちの努力と貢献、また彼らの偉大な実践で記されています。

この惑星に住んでいる一人一人の個人は自分の生涯に数多くの活動を行います。

しかし、その中でも少数の人々の名前と人間社会を改造する彼らの栄光に満ちた活動だけが歴史に記されています。

個々の国の指導者は自国の人民が平和と正義、平等と繁栄、幸せと喜びの中に暮らす自主的で自力更生する強力な国づくりを目指し、それを夢見ています。

一国の指導者が自分の生涯にこんな機会を得るのは決して容易なことではありません。

まして、そのような機会は自ずと現実になりません。大胆かつ立派であり、慈愛深い指導がその機会を現実とすべきです。

これは、理想的かつ愛国的であり、人民的な卓越した指導のもとに全人民の集団的努力によってのみ成し遂げることができました。

これは一つの党の指導のもとに偉大な民族の人民の一心団結によって実現されました。このような大きな機会は稀世の領袖たちである金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の賢明な指導のもとに朝鮮民主主義人民共和国で実現されることができました。

朝鮮民主主義人民共和国の創建と強化発展、社会主義思想の豊富化、朝鮮式社会主義の建設、また帝国主義列強に打ち勝ち、彼らとの闘争でこの偉大な領袖たちが収めた不滅の業績は大きな意義を持ち、また人類の歴史に金文字で記されています。

偉大な金日成主席：

朝鮮民主主義人民共和国の創健者である金日成主席は朝鮮民主主義人民共和国の首都平壤に位置したある村で1912年4月15日に誕生しました。

主席は10代の前半期、日本帝国主義の植民地支配から国と人民を解放するため革命闘争の道に身を投じ、1926年10月17日、打倒帝国主義同盟を結成しました。

主席は1930年6月、有名なカ倫会議で偉大なチュチュ思想を創始し、革命的党建設の新しい方向を計画しましたが、これはチュチュ型の革命的党創建の出発点となります。

主席は人間を世界の中心にすえて「人間はあらゆるものの主人であり、全てを決定す

る」ということを理論化した人間中心の哲学思想であるチュチェ思想を創始し、植民地国の人民は自力で民族解放を成し遂げるべきだということを強調しました。

主席は自国の革命は自力で遂行すべきであり、人民大衆の力に依拠して組織的な武装闘争で帝国主義を打ち破るべきだと明らかにしました。

主席は解放された朝鮮における革命的党の創建、社会主義国の建設、不拔の軍隊の建設、このように三つの重要課題を提示し、その実現のための闘争を推し進めました。

主席の賢明な指導のもとに朝鮮の革命家と人民は 1945 年 8 月 15 日、長きに渡る抗日革命闘争で輝かしい勝利を収め、日本植民地主義者の 40 年間の占領と抑圧から国を解放しました。

1945 年 9 月、主席は朝鮮に戻って共同の革命偉業に人民を組織し始めて 1945 年 10 月 10 日、抗日革命闘争の中で鍛えられ、育成された闘士を中核にし、国の各地域で活動していた共産主義中核分子で北朝鮮共産党を創建しました。

1946 年 8 月、北朝鮮共産党と朝鮮新民党は合同して北朝鮮労働党を構成しました。1949 年 6 月 30 日、北朝鮮労働党と南朝鮮労働党が合同して朝鮮労働党が創建されたことによって朝鮮人民は自分の運命を勝利的に開拓し、自分の前衛的勢力に依拠して画期的な変化をもたらす新しい時代をもたらした朝鮮労働党が組織されました。

不拔の正規軍を創建する偉大な決心を持って主席は 1948 年 2 月 8 日、朝鮮人民革命軍を朝鮮人民軍に創建しました。1948 年 7 月 10 日、北朝鮮最高人民会議は新しい憲法を承認し、同年の 9 月 8 日から新しい憲法は全国的範囲で実行されました。

9 月 9 日、朝鮮民主主義人民共和国が創建されて堂々たる自主独立国家として国際舞台に出現し、朝鮮人民は朝鮮の歴史で初めて国家と社会の主人として自主的に自分の運命を開拓できる尊厳ある人民となりました。この日、金日成主席は国の首相に選挙されました。

アメリカは 1950 年 6 月 25 日から朝鮮半島で無謀な戦争を起こしました。

この戦争でアメリカ帝国主義と反動勢力は朝鮮民主主義人民共和国に反対して同盟しましたが、勇敢な朝鮮人民軍と朝鮮人民の前に屈服して 1953 年 7 月 27 日、停電協定に調印しなければなりませんでした。このようになって 3 年間の祖国解放戦争(朝鮮戦争)は朝鮮人民の偉大な勝利で終わりました。

この苛烈な戦争で朝鮮人民は金日成主席の周りに固く団結して祖国を死守し、侵略者を退け、民族的自由と独立を固守し、朝鮮民主主義人民共和国の尊厳と威容を余すところなく轟かしました。

戦争の時期、アメリカが敢行した蛮行は世界戦争史に類を見ない最も残忍で非人間的なことでありましたが、アメリカ帝国主義侵略者は朝鮮人民に挫折されたばかりでなく、はなはだしい死傷者と武装装備を失いました。

それは、第2次世界大戦の時期に失った量のほぼ2.3倍に達しました。

朝鮮戦争での勝利の後、1954-1956年3ヵ年計画によって社会主義建設は速いスピードで推し進められました。

主席は重工業を優先的に発展させながらも工業と農業を同時に発展させて差し迫った食糧不足問題を解決するための穀物生産を増やし、農村地域で個人経営を社会主義的共同組合に改造するようにしました。

3ヵ年計画は新たな5ヵ年計画(1957-1961)、第1次7ヵ年計画と6ヵ年計画、2回の7ヵ年計画へとつながり、これを通じて朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮労働党はかつてない多くの成果を収めて朝鮮の経済をチュチェの自立的かつ自力更生する人民経済に転変させました。

主席は思想、技術、文化の3大革命を社会主義制度を樹立するための継続革命の課題として提示しました。

周期的な経済計画が完遂されて農業協同化は1958年8月まで終わりました。この間、小さな規模の協同組合が3000個以上の協同組合に統合され、それぞれの組合には約300戸に構成され、耕地面積は500余ヘクタールに増えました。

1958年に朝鮮は自立的民族経済のしっかりした土台を持った「社会主義工業・農業国」に転変され、1970年には「社会主義工業国」になったことを宣布しました。

1974年3月、朝鮮民主主義人民共和国は税金制度を永遠に廃止するという事を最高人民会議の法令として公布して世界で始めて「税金のない国」という事を宣布しました。

社会主義建設は社会生活の全ての面で、また人民経済の全ての単位で推し進められ、社会主義文化は開花、発展されました。

1975年には全般的11年制義務教育制が全国的範囲で実施されました。

1976年には「朝鮮民主主義人民共和国幼児保育・教育法」が採択されて国家のおよび社会的負担で全ての子供を育てる制度を強固にしました。

全世界をインテリ化し、社会のすべての人の文化・技術水準を大学卒業生の水準に引き上げることを目標にした世界的に有名な金日成主席の著作「社会主義教育に関するテーゼ」は1977年に発表されました。

1990年、ソ連が崩壊され、社会主義制度は一時的な敗北に直面しましたが、朝鮮民主主義人民共和国での社会主義建設は続けられ、社会主義の赤旗は白頭山の青空に変わりなくはためきました。

主席は1949年6月30日から1966年10月12日まで朝鮮労働党中央委員会の委員長として活動しました。

主席は1966年10月12日、朝鮮労働党中央委員会の総書記として推戴され、1994年

7月8日まで総書記として活動しました。

主席は1948年9月9日から1972年12月27日まで朝鮮民主主義人民共和国の政府首班として活動し、1972年12月28日、朝鮮民主主義人民共和国の主席に推戴されて1994年7月8日まで国のために奉仕しました。

1994年7月8日は、朝鮮と全世界の革命的労働者階級が社会主義と反帝運動の英雄の中の一人を亡くした悲しい日であります。主席の業績と教えは労働者階級の心の中に永遠に残っています。

朝鮮人民は金日成主席を朝鮮民主主義人民共和国の永遠の主席、朝鮮民主主義人民共和国の創健者、朝鮮労働党の創健者、チュチェ思想の創始者として高くいただきました。

チュチェ思想は朝鮮の特徴を誇示し、日本植民地主義とアメリカ帝国主義に反対する闘争と国家建設、社会主義建設で収めた経験と教訓で豊富化されました。

帝国主義者の干渉に反対する主席の立場、朝鮮の平和的統一に対するはっきりした見解、非同盟運動での特出した役割、社会主義と民族解放、人類解放に対する主席の教えは永遠不滅であるでしょう。

金正日総書記：

金正日総書記は日本植民地主義に反対する闘争を繰り広げていたとき、金日成主席と金正淑女史の長男として1942年2月16日、植民地主義と帝国主義に反対する闘争の目撃者である白頭山で誕生しました。

総書記は激しい爆弾の音と銃声と砲声、祖国解放のための闘争のスローガンを耳にしながら成長しました。総書記が10代の頃、朝鮮民主主義人民共和国はアメリカ帝国主義によって強いられた厳しい朝鮮戦争に直面しました。

この戦争で勇敢な朝鮮人民と朝鮮人民軍は主席の指導のもとに勝利を収めました。

幼い時代に革命的な家庭で革命的な影響を受けた総書記は戦場で鍛えられ、社会主義建設のための激しい運動の中で社会主義教育を受けました。

総書記は尊父であり、労働者階級の世界的な師であり、朝鮮労働党の理論的実践的指導者である金日成主席の知識と経験によって自身を武装させました。

金正日総書記は創造的な革命家、社会主義の思想家、先見の明の理論家でした。

そういうことにより、朝鮮人民は総書記を朝鮮革命の光明星と呼びました。

総書記は1964年6月19日から朝鮮労働党中央委員会で活動を始めました。この日から総書記は精力的な20代に政権党の最高参謀部で非常に重要な責務を担って活動を始め、党を強化し、思想活動を先立たせて社会主義朝鮮の革命的党建設の歴史に大きな貢献をしました。

1974年に総書記は朝鮮労働党中央委員会の書記に推戴され、朝鮮人民は総書記を「親

愛なる指導者」と親しく呼びました。総書記は「チュチェ思想について」をはじめ、数多くの著作を執筆して革命理論発展に貢献しました。

朝鮮民主主義人民共和国と隣接したソ連の崩壊と東欧諸国での社会主義挫折からまぬかれた影響を克服しているときである 1994 年 7 月 8 日、偉大な金日成主席が逝去しました。

全朝鮮人民が主席の逝去に弔意を表している時、帝国主義者と世界の資本主義勢力は朝鮮民主主義人民共和国と共和国の社会主義制度の崩壊を予測していました。

金正日総書記は朝鮮人民に力を与えながらゆるぎなく立っておられました。

総書記は朝鮮民主主義人民共和国の国家と朝鮮労働党を成功裏に導き、万里馬のスピードで社会主義建設を促しました。

また、総書記は人民経済を新たな高い水準に引き上げて科学と技術を発展させ、国防力を強化し、民族の自主権と保全を守護して毎度、反動勢力の予言が間違ったことを証明しました。

卓越した指導力と確固たる思想理論的見解、社会主義制度に対する忠実性、朝鮮人民に対する愛情を身につけたから金正日総書記は朝鮮人民の希望と信頼の中心となりました。

金日成主席の念願を実現するための総書記の献身と理論、実践の結合、思想分野における貢献、社会主義建設の偉大な成果は朝鮮人民を団結させ、共和国を一心団結された不拔の社会主義強国建設へと推し進めました。

金正日総書記は民主主義と人権のための警察国家と自称し、ソ連の崩壊後、世界の一極化を構築し、促そうと妄想しているアメリカ帝国主義に断固と挑戦しました。

総書記は世界の社会主義運動と反帝運動を主導する英雄として立っておられました。

金正日総書記は金日成主席が創始したチュチェ思想を発展させてそれを国家活動に実践的に具現しました。また全世界に普及し、朝鮮の特性に基づいて新たな境地へと発展させました。

人間があらゆるものの主人であり、自分の運命を決定するということを明らかにした偉大なチュチェ思想は朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮労働党、朝鮮革命の指導思想であります。

人間中心の世界観が反映されたこの政治哲学は人民が革命と社会主義建設の主人であることを明らかにし、朝鮮社会を正しい政治方式へと導くようにしています。

経済における自力更生、繁栄、民族の自主権と独立の守護——これはチュチェ思想の重要内容です。

社会主義建設はチュチェ思想のもう一つの非常に重要な内容です。チュチェ思想の発展につみあげた金正日総書記の貢献はその価値を評価できないほど大変重要です。

金正日総書記は先軍政治を実施して朝鮮の自主権と朝鮮人民を守護しました。

朝鮮の平和的統一に対する総書記の見解は今もはっきりしており、また貴いものとなっています。

祖国を守り、朝鮮半島で平和を樹立するために総書記は朝鮮民族第一主義を提示し、朝鮮人民自身が自分の問題に責任をもつべきであり、自己方式で解決すべきであるとの共通した理解から党と人民、軍隊を団結させました。

総書記はアメリカ帝国主義の覇権主義を打ち破って朝鮮に対する外部勢力の干渉を退けました。総書記は朝鮮の平和的統一を意図し、一生、この崇高な偉業のために全ての努力を傾けました。

金正日総書記は人民の真のしもべとして人民を信頼して愛し、人民のために奉仕するという思想をしっかりと堅持しました。

軍隊が雇い兵に利用され、人民を抑圧する手段となっている資本主義国と違って金正日総書記は朝鮮人民軍を人民のために奉仕し、祖国と人民の利益のためにはいつでも犠牲する覚悟を持っている人民を愛する軍隊に発展させました。

朝鮮人民軍は朝鮮民主主義人民共和国での社会主義建設の主力軍であります。

朝鮮人民軍は自然災害の時、救助と救援、改造と復旧に数百万人の軍人を動員させます。

朝鮮人民軍は名実ともに人民の軍隊であります。

金正日総書記は朝鮮人民の一心団結で朝鮮労働党を強化し、朝鮮民主主義人民共和国の民族自主権をしっかりと守護し、帝国主義者のあらゆる策動を阻止破綻させ、チュチェ思想を発展させ、世界的な挫折と逆境の中でも朝鮮式に朝鮮革命を前進させた大きな功績によって社会主義と反帝運動の世界的な英雄となり、これからも永遠に英雄として残っているでしょう。

外部勢力の干渉と数十年間にわたる非人間的な経済制裁を退けて朝鮮民主主義人民共和国を社会主義強国に建設するための金正日総書記の非凡な指導は評価に値することであり、朝鮮を平和的に統一する総書記の決心は確固不動のものでした。

金正日総書記は理論的に、実践的に多くの国で解決しがたい問題であった指導の継承問題を完璧に解決しました。これは総書記の最も大きな業績の中の一つであります。

金正恩総書記：朝鮮人民の敬愛する指導者

革命の継承問題は個々の国にとって大変重要な問題であります。それに劣らず重要なのは革命が収めた栄えある獲得物を固守して継承し、発展させることです。

朝鮮民主主義人民共和国の場合がそうであります。幸い、党の偉業と朝鮮革命の真の継承は朝鮮労働党の総書記であり、朝鮮民主主義人民共和国の国务委員長であり、朝鮮

民主主義人民共和国武力最高司令官である敬愛する金正恩総書記の賢明な指導のもとに輝かしく継承発展されています。

金正恩総書記の賢明な指導によって朝鮮民主主義人民共和国は試練の時期にも、帝国主義者の包囲の中でも社会主義建設の新たな里程標を整えており、朝鮮社会の全ての分野で偉大な勝利と世紀的変革をもたらしています。

金正恩総書記のエネルギッシュな指導は朝鮮で新たな高い発展をもたらしています。

人民の生命を保護し、生活水準を向上させるための総書記の精力的な努力は本当に賞賛に値することです。

総書記の人民に対する崇高な愛情は総書記の思想と、指導、人格、人民に対する忠実性と革命に対する本分をはっきりと見せる座右の銘である「以民为天」を見てもよくわかります。

総書記が自ら農場と学校、住民地域と病院、工場と災害地域を訪れる姿は総書記の人民に対する深い関心と愛情を見せています。

総書記の強大無比の胆力と犠牲的献身は朝鮮民主主義人民共和国を帝国主義の脅威に立ち向かい、帝国主義侵略に終止符を打ち、子孫万代の幸福を守るようにする世界的な軍事強国に変換させました。

総書記の賢明な指導によって朝鮮民主主義人民共和国は数十年間の非人間的な制裁と封鎖の中でも工業と農業、科学と技術、教育と保健医療、スポーツなど多くの部門で新たな成果を収めています。

人民生活の全ての面で科学技術の利用は総書記の指導の中でまた一つの賞賛に値する功績となります。

科学者のための住宅の建設と供給、人民のために毎年行われる1万世帯分の住宅建設と供給、全ての子供のための全般的12年制義務教育、人民に供給する海産物のための黄金の海の運動、コロナ感染症に対する正しい対処、これらは全て朝鮮式社会主義の特徴を示すよい実例です。

金正恩総書記は偉大なチュチェ思想を貫徹したばかりでなく金日成・金正日主義を朝鮮労働党と朝鮮革命の指導思想として定立しました。総書記は世界青年の鑑、労働者階級の鼓舞であり、世界社会主義運動と反帝運動の希望の光であります。

エベレストの大地の上でわれわれは白頭山の大地の革命家たちに敬礼を送り、また偉大な朝鮮人民と朝鮮労働党、朝鮮の政府が社会主義建設と反帝運動で新たな成果を収めることを願いながらわれわれの連帯を送ります。

ありがとうございます。